

氏名：伊山 修

分野名：群論・環論・組合せ論、リー群・リー環・表現論

キーワード：整環の表現論、叢、Cohen-Macaulay 加群、傾理論、導来圏、特異圏、
団圏、団代数、非可換特異点解消

現在の研究概要：環論は数体系の一般化である環を調べるもので、環の表現論は与えられた環上の加群を調べる分野です。叢など体上の有限次元代数の表現と、可換環上の整環の Cohen-Macaulay 表現が、Auslander-Reiten 理論という統一的な枠組みによって扱われます。近年では導来圏の圏構造の研究が盛んで、特異圏や団圏と呼ばれる三角圏とともに、傾理論や dg 圏を用いて活発に研究されています。また、団代数（クラスター代数）の圏化や、非可換特異点解消の構成などへの応用も盛んに調べられています。

学生への要望：数学の中では若い分野です。熱意とアイデアのある方の参入を期待しています。